

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/11/22号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

強弱材料交錯の中、1か月半ぶりの安値更新

NY原油先物相場は、1バレル=76ドル水準まで軟化し、10月7日以来の安値を更新する展開になった。80ドルの節目水準で揉み合う展開が続いた後、大きく値を崩している。1) バイデン政権の戦略石油備蓄 (SPR) 放出の可能性、2) 欧州の新型コロナウイルスの感染拡大、3) ドル高環境などが、上値を圧迫している。11月19日が12月限の取引最終日だった影響もあり、買い方ファンドの投げ売りが膨らんで急落した。

短期需給のひっ迫評価は維持されているが、ネガティブ材料が複数浮上しているため、積極的に上値を買い進むような動きは見られなかった。逆に調整売りが優勢になったが、80ドルの節目水準でのサポートに失敗したことで、投げ売りが膨らんでいる。特に、SPR放出を巡る議論は、米国のみならず中国や日本、インド、韓国なども巻き込んだ議論になっており、どのような展開を見せるのか分からない不確実性の高さが、地合の悪化を促した。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (11月12日時点) は、原油が前週比210万バレル減、ガソリンが71万バレル減、石油精製品が82万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレーム) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

SPR放出リスクと欧州パンデミックが圧迫、自立反発の可能性も

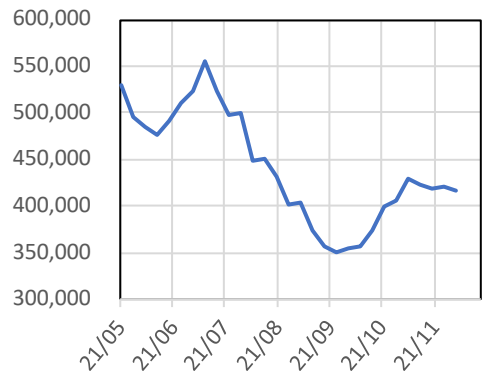
前週の急落は12月の取引最終日に絡んだ持高調整の影響もあるため、週前半は安値修正の動きが強まる可能性はある。ただ、改めて上値を大きく買い進むことは難しい状況になっており、80ドル水準では上値が圧迫されるリスクが高まっている。SPR放出を巡る動き、欧州パンデミックの広がりといった動きがあると、戻り売り優勢の地合が維持され易い。75.00ドルの節目、100日移動平均線（74.28ドル）でのサポートの有無が問われる。

バイデン政権は、中国や日本、インド、韓国などに対しても石油備蓄放出での協調行動を要請していたことが明らかになった。また、同時に石油輸出国機構（OPEC）に対しても、改めて増産加速を要請している。12月2日にOPECプラスの閣僚級会合を控える中、SPR放出が行われると瞬間的に大きく値下がりする可能性がある。マーケットでは原油相場に対して2ドル前後の下押し要因になるとの見方が強い。

また、欧州で新型コロナウイルスの感染が拡大しており、ロックダウンの導入が始まっていることも警戒される。オランダに続いて22日にはオーストリアもロックダウンを再開する。ドイツでも医療体制のひっ迫化でいつロックダウンが再開されるのか分からない状況にあり、需要不安の織り込みが強化されると、原油相場のコアレンジも切り下がり易くなる。

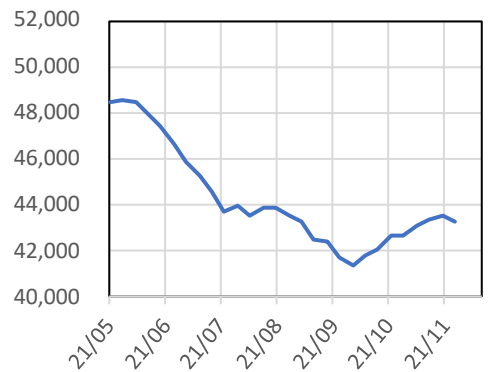
一方、国際エネルギー機関（IEA）は、あらゆる尺度で原油需給がひっ迫化していると報告している。また、北半球では冬型の天候になっていることで暖房用エネルギー需要が拡大し易く、液化天然ガス（LNG）相場は改めて上昇している。短期需給のひっ迫傾向が再評価されると、早めに押し目買いが膨らむ可能性が高まる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



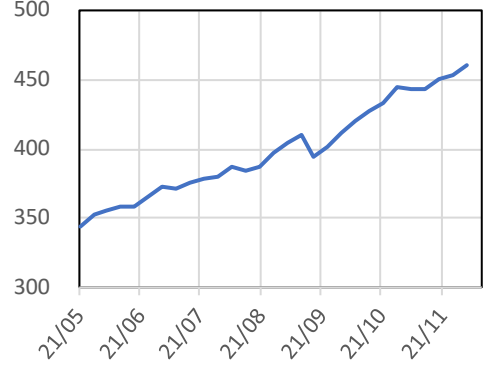
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

